

一 般 質 問 通 告 事 項

(平成30年第1回白岡市議会定例会)

第1通告者 13番 石原富子 議員

1 下水道BCPについて

住民の生活や、社会経済活動を支える根幹的社会基盤である下水道が、災害時にはその機能を果たせない恐れがある。

下水道BCP（業務継続計画）について伺う。

- (1) 下水道の普及率と耐震化の整備状況は。
- (2) 実動訓練などの実施状況は。
- (3) 白岡市の下水道BCPの課題と対策は。

2 高齢者の運転免許証の自主返納について

全国的に高齢者が運転する車の交通事故が多く、緊急の対策が必要である。その一つが、自動車運転免許証の自主返納である。県内でも自主返納者の数が増加している。

- (1) 白岡市内の高齢者の運転免許証の自主返納状況は。
- (2) 高齢者の交通事故予防について市の対策は。
- (3) 久喜警察署と白岡市役所との高齢者の事故防止対策に関する連携は。

第2通告者 9番 黒須 大一郎 議員

1 水道事業について

- (1) 公表されているアセットマネジメント手法による水道施設長期更新計画では財源確保を示し、水道料金2019年に15%、更に2029年に15%の増額改定をとこの先10年程に示しているが、どうなるのか。

※ 供給単価160.7円/m³（平成26年度決算書ベース）⇒
212.5円/m³に

- (2) 水道事業の広域化は、どのように進んでいるのか。
- (3) これからの水道事業経営戦略と平成34年（2022年）から

の水道ビジョンはどうか、策定に向けた取組状況を伺う。

2 ふるさと納税のこれから

(1) ふるさと納税の状況は。

※ 寄附件数、その額、その事業費、市民が他自治体にふるさと納税したことによる減少額。

(2) 使途の選択状況や納税者の氏名・額の公表状況は。

(3) ふるさと納税のポイントは、返礼品・税金の使途指定・何処でも何方でも等があるが、どこに力を入れるのか、今後の展開は。

(4) より具体的な政策使途を示す、原点に戻った展開も考える時では。

3 早期に公文書管理条例を

(1) 電子文書（メールを含む未完結文も）を含む文書管理の現在の状況は。

※ 現用文書管理のライフサイクル管理プロセス等、歴史公文書の移管・保存・利用のプロセス等を踏まえて。（文書管理の教育・訓練も含み）

また、紙文書と電子文書の棲み分けや管理の実施状況に係る報告及び監査の仕組み、「永年」「長期」保存文書の見直しや廃棄規程なども踏まえて。（特に耐火書庫が満杯状態では。）

(2) 公文書の位置付け・定義及び公文書管理の目的等を踏まえ、自治体の文書について、どのように認識しているのか。（公用物であり、住民等の利用に供される公共用物であるといえるのではないか。）

(3) 市は、自治基本条例の第7章の情報の公開、提供及び共有で「議会及び行政は、市民に対し説明責任を果たし、市政への参画を促進ため、市政情報を公開するとともに、市民と情報の共有を図るため、市政情報の積極的な提供に努めるものとする。」とある。市政情報が、市と市民の共有財産と位置付けになる以上、その管理に関する事務については、内部規程である訓令でなく条例で規定すべきだが、いかがか。

(4) 新しい生涯学習センターの開館を契機に、文書資料室も機能アップすると考える。そのためにも必要なのでは。

(5) 市情報公開条例との整合性を図る上でも必要なのではと考えるが、条例化せず規則にて対応するのは、条例化すると不都合があるのか。

第3通告者 14番 大倉秀夫 議員

1 都市下水路、三ヶ村落堀の護岸の補修と浚渫について

小久喜JR二反五畝踏切から千駄野に通じる都市下水路、天使幼稚園附近から隼人堀に通じる三ヶ村落堀の水路の中はヘドロ等がかなり堆積し、護岸もコンクリートの傷みが目立つので、浚渫等、護岸補修などの計画を伺いたい。

2 防犯カメラの設置に向けた要望について

平成26年12月と平成27年12月の定例会で質問した調査・検討の結果状況を伺いたい。今後、防犯カメラの設置について市の考えはどうか。

第4通告者 3番 関口昌男 議員

1 マイナンバー制度の廃止に向けて

- (1) マイナンバー制度の最近の動きについて。
- (2) 市当局のこの問題に対する対応について。
- (3) 白岡市で要した経費について。
- (4) マイナンバー制度の普及状況について。
- (5) 制度に関する問題点について。
- (6) 国に対し実施中止を求めている。

2 白岡市の人口ビジョンの一部見直しを

- (1) 人口ビジョンの性格について。
- (2) 何らかの形で一部見直しをする必要はないか。
- (3) 人口の最高値の再検討を。
- (4) 合計特殊出生率の向上をどう評価するか。
- (5) 白岡市の人口ビジョンをどう実現するか。

1 新しい小売り形態について

- (1) 新しい小売りの形態を市が提案してはどうか。
- (2) コミュニティビジネス規模の直売ができないか。
- (3) 大型商業施設の誘致だけではないのではないか。

2 戦没者慰霊碑「白岡の塔」について

明確に市で管理し、慰霊すべきではないか。

3 市民の足について

- (1) 乗り合いタクシーの国庫補助金は、いつまでどの位続くのか。
- (2) これは市民の足と言えるのか。
- (3) 市民が運行することを考えるべきではないか。

4 自治の理念の実現について

- (1) もっと自治について議論すべきではないか。
- (2) 公募から応募した方の選考について。
- (3) 公募の制限について。

5 白岡中学校周辺の開発について

- (1) 前議会以降の進展は。
- (2) 大型施設の誘致だけが生活を豊かにするのか。

1 埼玉県自転車の安全な利用の促進に関する条例改正について

埼玉県では、平成30年4月から自転車保険への加入が義務になる。条例改正を受け白岡市の取組について伺う。

- (1) なぜ、自転車保険加入を義務化するのか。自転車保険加入義務化条例に罰則はあるのか。
- (2) 対象自転車保険の種類と他の都道府県での状況は。
- (3) 市民への広報について当市の対策は。
- (4) 学校における保険加入の義務化についての考えは。
- (5) 保険加入の推進と高齢者や子どもの事故防止対策について今後の方針を伺う。
- (6) 公用自転車の保有台数、損害保険加入状況及び公共施設（観光

協会・図書館）指定管理施設の保険加入扱いの状況は。（公民館・総合運動公園・コミュニティセンター・温水プール等）また、自転車通勤の職員もいると思うが、職員から率先垂範で保険に加入し市民に模範を示すべきであると思うが考えを伺う。

2 保育所でのアレルギー対応について

- (1) 白岡市内保育所でのアレルギー疾患の現状は。（疾患別数）
- (2) 各種（食べ物・動物との接触・外遊び等）アレルギーへの対応は。また、重い食物アレルギーの子どもを受け入れない自治体もあると聞くが当市では公立・私立ともに受け入れているか。
- (3) ガイドラインの周知と取組について。
- (4) 乳幼児の食べ物アレルギー対策について。（配膳ミス等）
- (5) 3歳児以下、特に0歳児の食物アレルギーは、確定診断に至っていないがどのような対応をしているのか。
- (6) 研修会の実施について、自己注射「エビペン」の使用講習を実施する考えはないか。
- (7) 他施設との情報共有についての取組は。

第7通告者

16番 菱 沼 あゆ美 議員

1 防犯の取組について

- (1) 近年の市内における痴漢行為の実状について。犯罪件数と近隣市町の比較を伺う。
- (2) 被害が起きた情報は、どのように把握をしているのか。
- (3) 犯罪を増やさない、安心安全なまちづくりのための防犯の取組について伺う。

2 子育て支援について

- (1) 子育て支援として、赤ちゃんのいる家庭にゴミ袋を補助してはどうか。
- (2) 新生児誕生のお祝い品としてお米30kg分の贈呈を行っているが、現状は。さらに使いやすくなる工夫をしてはどうか。
- (3) 小中学校の給食費を無料化にしていくべきと考える。給食費の徴収や、取組の状況を伺う。

(4) 就学援助費についての、取組の進展状況を伺う。

3 運転免許証自主返納者への支援について

(1) 免許証返納者に、のりあい交通の回数券を補助している。年間返納者は何名で、そのうち回数券申請者は何名か。状況を伺う。

(2) 警察署の返納窓口で、返納者がしっかりと回数券の情報を受け取れることが大切である。警察署と連携を図り、より返納者に寄り添った対応ができないか伺う。

(3) 返納者の多くは、何かしらの課題を抱えているのではないかと考えられる。介護予防や福祉支援につながるように、返納窓口で何らかの工夫をしてはどうか。

(4) 免許証返納時に、身分証明となる運転経歴証明書（カード）の発行には手数料がかかる。助成をしてはどうか。

(5) 住まいの近所で生活が送れるような方向性が重要になる。医療については、かかりつけ医・かかりつけ薬剤師の市民へのさらなる啓発が不可欠ではないか。

第8 通告者

1 番 井 上 日出巳 議員

1 中学校部活動の顧問について

長時間化する部活が教員の忙しさの主な要因との話を聞くが、当市の現状と対応策は。

(1) 練習時間はどれくらいか。適切な練習時間や休養日等の設定はしてあるか。

(2) 当市の教員の部活動顧問の割合は。（全員顧問制か）

(3) 担当している部活動の競技経験がない教員の割合は。

(4) 当市の教員は、部活動顧問をどのように感じているのか。アンケートや聞き取りなどは行っているのか。

(5) 部活動指導員が制度化されたが、当市の対応は。

2 地域のつながり（行政区や自治会）について

近年、行政区や自治会への加入を避ける人が増え、地域のつながりが希薄化していると聞くが、当市の現状と対策は。

(1) 当市の行政区及び自治会の数は。活動内容は。

- (2) 未加入の実態は把握しているか。
- (3) 先細る地域のつながりを、市はどのように受け止めているか。
対策は。

第9 通告者 15番 江原浩之 議員

- 1 県のAI（人工知能）活用について
 - (1) 梨の摘果判断アプリ開発の具体的内容は。
 - (2) 梨生産者への影響は。また、どのような効果が見込めるのか。
市はどのように関わっていくのか。
- 2 シニア活躍支援について
アクティブシニア活躍支援をどのように取り組んでいくのか。

第10 通告者 10番 大高馨 議員

- 1 農業政策について
 - (1) 米の生産調整の実績は。
 - (2) 国の新たな米政策の概要は。
 - (3) 国の助成、市単独助成の今後は。

第11 通告者 2番 渡辺聡一郎 議員

- 1 多くのシニアが活躍できるシステムを
 - (1) シルバー人材センターの現状について伺う。(会員数と数の推移、
受託件数と内容、会員の就業率と就業した者の一人当たりの平均
就業日数)
 - (2) 登録者の仕事の振り分けをどのように行っているか。
 - (3) ホワイトカラーとのマッチングや業務多様化への対応について
伺う。
 - (4) 研修の充実と積極的なPRによりさらなるイメージアップを図
れないか。
 - (5) シルバー人材センターが担う役割と目指す方向性をどのように
考えているか。
 - (6) 今後のシニア活躍のためにどのような支援が必要か。担い手不
足のニーズとのマッチングや専門知を持ったシニアの活躍支援は。
- 2 まちづくりのカタチと「見える化」について

- (1) 新白岡などのニュータウンで進行する市街地空洞化への対応について。どのような考えと対策を持っているか。
- (2) 白岡のまちづくりのカタチについて。立地適正化計画・コンパクトシティについてどのような考えを持っているか。
- (3) 白岡のまちづくりの「見える化」について。まちづくりの全体像・将来像・時間軸をもっと市民と共有すべきではないか。

第12 通告者

4番 齋藤 信治 議員

1 隠れた障がい者

障がい者と言ってもみな違う。精神障がいや発達障がいなどは、本人や家族も気付かないことが多い。こうした隠れた障がい者について伺う。

- (1) 障がいが疑われ、困難を抱えている方の把握と方策を伺う。
- (2) 学齢期で障がいが疑われる方の把握と支援について伺う。
- (3) 「大人の発達障がい」が疑われる方の把握と支援について伺う。
- (4) 本人や家族が認識していないが、障がいが疑われ困難を抱えている方の把握やその方策について伺う。

2 生活保護の状況

一年前、小田原市でジャンパー事件が発生した。小田原市は、真摯にかつ早急に対応し改善に努めた。当市の生活保護行政の実態はどうか。

- (1) 生活保護の現状を伺う。特に保護率の動向について伺う。
- (2) 相談支援体制について伺う。ケースワーカーの人数や育成状況を伺う。高度な専門性を求められるがその維持・確保の方策は。
- (3) 相談から申請までの流れについて伺う。特に相談者の尊厳を損なわない工夫などはあるか。
- (4) 生活保護を受けることへの抵抗があるなどで、保護を必要としているにもかかわらず、相談できない方に積極的にアウトリーチできないか。

第13 通告者

5番 松本 栄一 議員

1 都市計画道路の整備状況及び路線の見直しについて

- (1) 白岡駅西口線及び白岡宮代線の整備が進行中であるが、他の路線も含め進捗の状況は。
- (2) 白岡宮代線の整備は、県道春日部菖蒲線まで進行中であるが、その先が見えない。第5次総合振興計画では、将来検討の主要道路としてあるが、この白岡宮代線の延伸道路としての見通しを伺う。

2 防犯灯のLED化について

- (1) 市内のLED化の進捗状況は。
- (2) 駅周辺などの市街地は、相当進んでいるが、菁莪・大山地区は遅れている。LEDへの器具交換のスピードアップを図れないか。

第14通告者

7番 大島 勉 議員

1 大山・菁莪活性化について

- (1) これまでの取組は。
- (2) 両地域での今後の展開は。また目標とするところは。

2 のりあい交通について

- (1) 試行運転から3年経過したが、現状は。また、一昨年アンケートが行われたが、結果どうなったのか。
- (2) 当市の今後の交通施策に対する考えは。

3 地域ケア会議について

- (1) どのようなもので、どこで、どのように行われているか。また、市で行っている総合事業との連携はあるのか。
- (2) 地域に沿ったものなのか。また活用の方法は。
- (3) 今後の高齢福祉についてどう考えるか。